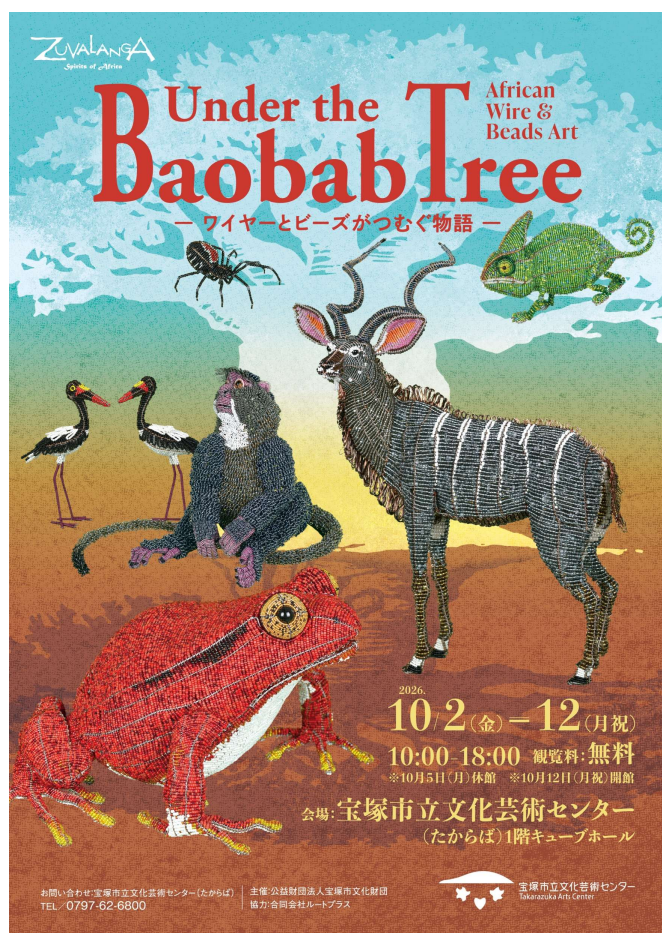


アフリカンワイヤー&ビーズアート作家《ZUVALANGA》

## African Wire & Beads Art Exhibition “Under the Baobab Tree” —ワイヤーとビーズがつむぐ物語—

### 開催のお知らせ



公益財団法人宝塚市文化財団（兵庫県宝塚市）は、このたび宝塚市立文化芸術センターにて、2026年**10月2日（金）～10月12日（月祝）**の会期で展覧会「African Wire & Beads Art Exhibition “Under the Baobab Tree” —ワイヤーとビーズがつむぐ物語—」を開催します。

南アフリカ共和国を中心に広がる新しいアートのかたち「ワイヤー&ビーズアート」。

本展ではその技を現地ヨハネスブルグで学び、大阪を拠点に活動する**日本人によるアーティストユニット「ZUVALANGA（ズワランガ）」**の制作のルーツと最新の活動をご紹介します。

宝塚市立文化芸術センターでの展覧会は、2024年度の「ZUVALANGA African Wire & Beads Art —ビーズのいきものと出合いの風景—」（2024年5月16日～26日）に引き続き2回目の開催となります。この機会にぜひZUVALANGAが紡ぎ出す生命力あふれる世界をお楽しみください。

## 開催概要

**展覧会名： African Wire & Beads Art Exhibition “Under the Baobab Tree”**  
—ワイヤーとビーズがつむぐ物語—

会 期：2026年10月2日（金）～10月12日（月祝）、10日間

休 館 日：10月5日（月）

※10月12日（月祝）は開館いたします

開場時間：10時～18時

※宝塚市立文化芸術センターの開館時間に準じます

会 場：宝塚市立文化芸術センター（たからば）

1階・キューブホール

◇兵庫県宝塚市武庫川町7番64号

◇JR宝塚駅・阪急宝塚駅から徒歩約11分 ◇阪急宝塚南口駅から徒歩約6分

観 覧 料：無料

主 催：公益財団法人宝塚市文化財団

協 力：合同会社ルートプラス

## 関連イベント

### ギャラリートーク 「ワイヤーとビーズでつながるアフリカと日本」

開 催 日：2026年10月3日（土）

時 間：14時～（60分程度）

会 場：1階・キューブホール（展示会場）

内 容：南アフリカで活動するジンバブエ人アーティスト  
プリビース・タウレイ氏と、ZUVALANGAが登壇。  
展覧会のために制作した作品や、南アフリカでの  
ワイヤー&ビーズアートについてお話しします。

そ の 他：参加無料、事前予約不要、事前申込不要  
ご参加ご希望のお客様は直接会場にお越しください



## 作品販売について

**ZUVALANGAの作品を、文化芸術センター内  
1階ショップ（常設・展示会場向かい）で販売しています。**

宝塚にゆかりのある作家の作品をはじめ、動物や植物を  
テーマにした雑貨や書籍、懐かしい宝塚の絵葉書などを  
揃えたミュージアムショップです。  
ショップではZUVALANGAの作品を手にとってご覧いただけます。  
特に約30種類を揃えたキーホルダーやピンズがおすすめです。

営業時間：10時～17時（13時～14時は休店）



## 1. 「生命の木」 バオバブから広がる世界

南アフリカの大地に根を張るバオバブは、葉や果実、種子（オイル）、樹皮（繊維）などが余すところなく使用できることから「生命の木」とも呼ばれています。また特筆すべきはその貯水量で、乾季には多くの生き物がその幹から水分を補給してきました。古くから生きものが集う場所であり、いのちを育む拠り所、バオバブ。その逞しく大きな木の傍らには、常に大地に生きる動物たちの気配があり、人と自然がともに歩んできた時間があり、世代を越えて受け継がれてきた物語があります。

本展では、**アフリカンワイヤー&ビーズアート**で制作した高さ約130cmのバオバブの木を中心に**たくさんの生き物たちが集い、共生する世界をインスタレーションの形でご覧いただきます。**



## 2. 日本とアフリカ・鳥たちの饗宴

哺乳類や爬虫類、両生類から小さな虫まで……。これまでたくさんの生き物を象ってきたZUVALANGAが本展で注目するのは「鳥」たちの姿です。今回は展覧会場内に特集コーナーを設け、**アフリカンワイヤー&ビーズアートで表現する「鳥」を、南アフリカで活躍するアーティストとのコラボレーションでご覧いただきます。**

身近な日本の鳥と色鮮やかなアフリカの鳥、それぞれの違いや特徴をぜひお楽しみください。

また2024年に制作し、好評を博した**ケープハゲワシ（翼開長約3メートル）**も**展示**します。



### 3. アフリカンワイヤー&ビーズアートの「今」を知る

南アフリカでアフリカンワイヤー&ビーズアートに出会い、  
現地のアーティストたちと切磋琢磨する中で技を学んだZUVALANGA。  
本展ではZUVALANGAが見つめてきたアフリカンワイヤー&ビーズ  
アートの「今」の姿、現地での受容の在り方、そして個性豊かな  
アーティストたちとの交流の軌跡をご紹介します。

会場ではZUVALANGAが**南アフリカで撮影した動画**を上映し、  
現地のマーケットやアーティストたちの姿をご覧ください。  
また**現地のアーティストが制作した作品も展示します（販売あり）**。

また本展に合わせ、**南アフリカで活動する新進気鋭のアーティスト  
プリビアス・タウレイ氏が来日**します。**ギャラリートークも開催**しますので、  
アーティストの生きた声と作品を通じて、アフリカンワイヤー&ビーズ  
アートと南アフリカの市場の「今」の姿を実感していただけます。



## アフリカンワイヤー&ビーズアート

アフリカに古くからあるビーズ文化とワイヤーアートの出会いから生まれた「ワイヤー&ビーズアート」。  
精緻かつ華やかなその技はアフリカ南部ジンバブエから花開き、現在では南アフリカに広くマーケットを展開し  
ています。また多くのジンバブエ人アーティストが南アフリカ共和国を中心に活躍し、彼らの作品は現地の人々  
や外国人観光客などを中心に人気を博しています。

ワイヤー&ビーズアートは新しいアートの形でありながら、同時に現地のアーティストたちにとっては生きる  
ための手段として確立しています。それぞれのアーティストが得意とする分野／モチーフ／技法は様々ですが、  
純粋な自己表現だけではない生業としてのアートという側面から、各アーティストが独自の技やアイデアを大切  
に守り、次世代に伝えながら活動しています。



## ZUVALANGA (ズワランガ)

Erika & Ryohei Kitamado



日本人によるアーティストユニット。

2011年～2014年、南アフリカ共和国ヨハネスブルグ滞在中に出会ったジンバブエ人アーティストたちと交流を重ね、アフリカンワイヤー&ビーズアートを学びはじめる。2015年に日本帰国後、「ZUVALANGA」として大阪を拠点に活動を開始。アフリカで出会った人々との繋がりと彼らへの想いを大切に、魅力あふれる多種多様ないきものたちの世界を多彩なビーズで表現している。

「ZUVALANGA」とは太陽を意味する「ZUVA」（ショナ語・ジンバブエ共和国）と「LANGA」（ズールー語・南アフリカ共和国）を組み合わせた造語。いきものたちを美しく力強く輝かせるアフリカの大地に昇る太陽を表している。

### ◇近年の主な展覧会

- 2017年 開館40周年記念特別展 ビーズ ーつなぐ・かざる・みせる ※出品  
(国立民族学博物館／大阪)
- 2019年 国立民族学博物館・国立科学博物館共同企画展  
ビーズ ー自然をつなぐ、世界をつなぐー ※出品  
(国立科学博物館／東京)  
ZUVALANGA × Joseph Ketche AFRICA ーBe Wired Be Beaded Be Upcycledー  
(クロスロードカフェ／兵庫)
- 2022年 One 共に在る世界  
(クロスロードカフェ／兵庫)  
day to day ー日々に笑う挿し色ー  
(Gallery空庵／兵庫)
- 2023年 Day ー太陽にかがやくいきものたちー  
(武家屋敷赤井家住宅／三重)
- 2024年 African Wire & Beads Art ービーズのいきものと 出会いの風景ー  
(宝塚市立文化芸術センター／兵庫)
- 2025年 Animals in the World ー野生に生きるものたちー  
(武家屋敷赤井家住宅／三重)
- 2026年 African Wire & Beads Art ービーズに宿る野生美ー  
(芦屋市谷崎潤一郎記念館／兵庫)